

### 第66回静岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

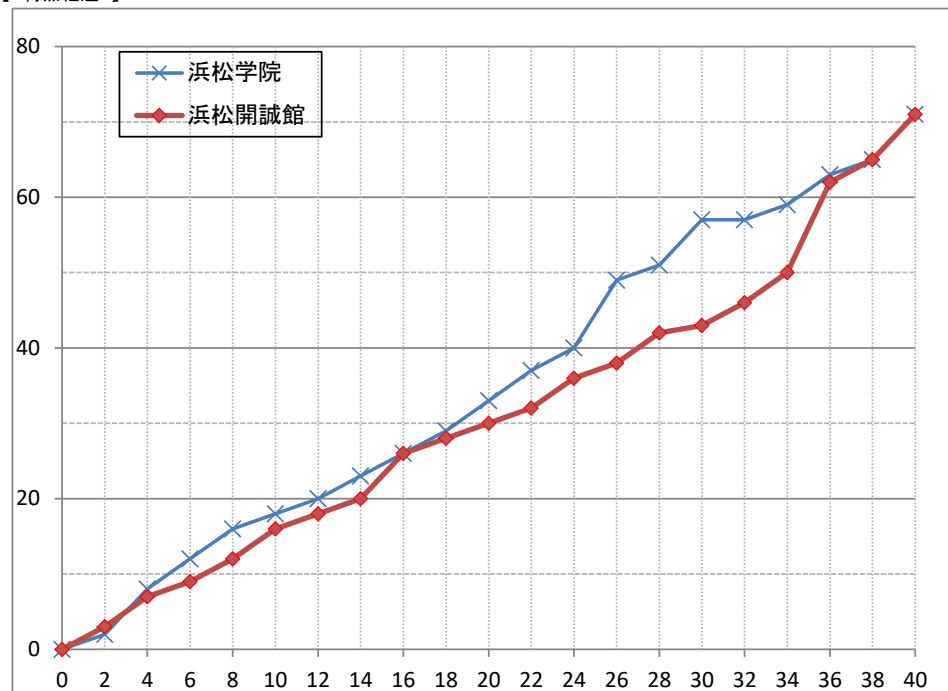
決勝リーグ	
試合日	2018年6月3日
会場	エコパアリーナ
コート	B コート
開始時間	15:10

TEAM A		TEAM B
浜松学院 (西部)	77	79 浜松開誠館 (西部)
	18 - 16	
	15 - 14	
	24 - 13	
	14 - 28	
	6 OT 8	

TEAM A 浜松学院 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		足立悠太	0				1
5	*	中川賢人	10		4	2	4
6	*	新村健心	14		5	4	4
7		中村健生	2			2	
8	*	後藤陸人	5	1	1		2
9	DNP	于振華	0				
10	DNP	陳相廷	0				
11	DNP	小金沢彪	0				
12	*	伊藤凧都	5	1	1		2
13	*	葉山大誠	36		16	4	3
14	DNP	前田晃希	0				
15		辺田涼介	5		2	1	5
16	DNP	鈴木涼輝	0				
17	DNP	堀江俊司	0				
18	DNP	大庭颯馬	0				
19	DNP	赤土大介	0				
20	DNP	松本楓	0				
21	DNP	長坂元暉	0				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			77	2	29	13	21

TEAM B 浜松開誠館 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	神田誠仁	15		5	5	4
5	*	田中勇樹	34	1	15	1	
6	*	佐原和樹	5	1	1		1
7		菅沼英一	4		2		
8	DNP	鈴木利尚	0				
9	DNP	新里翔	0				
10		山本啓太	2		1		1
11	*	曾田翔己	8		2	4	1
12		木村駿太	0				1
13	DNP	田中駿	0				
14		飯島友汰	0				1
15		川嶋耕平	5	1	1		1
16	DNP	池谷愛斗	0				
17	*	今井田大輝	6		3		4
18	DNP	二村遥	0				
19	DNP	岡龍之介	0				
20	DNP	山口慶悟	0				
21	DNP	田村宙	0				
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			79	3	30	10	14

【得点経過】



【戦評】

1PD 浜松学院、浜松開誠館両チームマンツーマンでスタートする。開誠館は⑥佐原の3Pで先制、浜松学院は激しいプレッシャーマンツーマンからブレイクを出す、なかなか得点できずにいたが、⑬葉山のレイアップで得点すると、その後もブレイクで得点を重ねる。開誠館も④神田のバスケットカウント⑤田中の1on1で点数を重ね、18-16浜松学院のリードで1PDを終える。

2PD 第2PD両チームなかなか得点できずにいたが、開誠館⑪曾田のバスケットカウント、⑮川嶋の3Pで同点に追いつくが、浜松学院も⑫伊藤の3Pですぐにリードを戻す。その後も両チームの連戦の疲れからペイント近辺のショットが思うように決まらない。そんな中でも開誠館⑤田中浜松学院⑬葉山らが何とか得点を重ね、33-30浜松学院のリードで前半を折り返す。

3PD 第3PD浜松学院⑬葉山のポストアップで得点してスタート。その後も⑬葉山の連続得点で点差を離す。開誠館も⑪曾田のリバウンドシュート等で何とかつなぐが、最大15点リードを許してしまう。第3PD浜松学院の14点リードで最終PDを迎える。

4PD 第4PD開誠館⑤田中のゴール下でスタートし、追い上げを図る。その後も⑤田中のレイアップで得点差を1桁にする。その後も開誠館⑥佐原の3P、⑤田中のレイアップで残り4分44秒 差を4点とし、浜松学院たまたまTO、その後も開誠館④神田、⑰今井のバスケットカウントで逆転する。その後も開誠館はゾーンプレスからターンオーバーを誘い、残り1分34秒で65-69と開誠館リードで浜松学院2度目のTO。その後浜松学院⑬葉山、⑩陳の、⑥新村のレイアップで残り1.8秒で同点に追いつく。開誠館TOからワンプレーにかけるが、失敗し、延長に突入する。開誠館⑮川嶋、⑰今井田の得点でスタート。その後お互い疲労の中でショットがなかなか決まらない。残り30秒で75-75の同点で浜松学院がTOをとるが得点できず。ラストプレー開誠館⑪曾田のジャンプシュートを⑤田中がプザービーターでタップし、試合を決めた。両チームとも2日間の連戦の疲労が残っていたが、最後まであきらめずにプレーしたナイスゲームであった。

戦評(文責)	本間光一(浜松西高校)	記入者	鈴木澄玲(袋井商業高校)
--------	-------------	-----	--------------